



2025 年度
PGSブリヂストン杯（予選）

開催月日 2025 年 10 月 23 日（木）
 開催会場 千葉よみうりカントリークラブ、丘の公園清里ゴルフコース、
 那須野々原カントリークラブ、鹿島南蓼科ゴルフコース、下館ゴルフ倶楽部
 ※1 競技 5 会場同時開催
 出場会場 下館ゴルフ倶楽部
 〒308-0811 茨城県筑西市茂田ザ・ヒロサワ・シティ TEL 0296-20-1111

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルール、競技の条件を適用する。
 本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。
 ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルール、競技の条件の違反の罰は、「一般の罰（2 罰打）」となる。

◆プレーの条件

- (1) 各クラス 18 ホール・ストロークプレー（アンダーハンディキャップ競技）
 - ①BBクラス（JGA/USGA ハンディキャップインデックス～14.9 まで）
 - ②WRクラス（JGA/USGA ハンディキャップインデックス 15.0～24.9 まで）
 - ③ピンククラス（JGA/USGA ハンディキャップインデックス 25.0～ まで）

注 1) ブラック・ブルー・ホワイト・レッドの出場者が 59 名以下の場合には 1 クラスとする。
 注 2) ピンククラスの出場者が 2 名以下の場合にはホワイト・レッドクラスでの出場とする。
 尚、その場合ハンディキャップインデックスの数値はそのまま適用とする。また、競技参加料として PGS 会員 1,650 円(税込)、PGS 会員以外 2,200 円（税込）を徴収する。
- (2) 使用ティーは男子：白マーク、女子：赤マークとする。
- (3) ハンディキャップは、10 月 1 日付けのハンディキャップインデックスを、使用ティー、使用グリーンのスロープレーティングとコースレーティングに基づき、コースハンディキャップに変更し、そのコースハンディキャップをプレーイングハンディキャップ（競技適用 HDCP）とする。

※ $\text{コースHDCP} = \text{HDCPインデックス} \times \text{SR} \div 113 + \text{CR} - \text{パー}(72)$
- (4) 入賞制限：本競技適用ハンディキャップインデックスが、競技開催月の 3 ヶ月前（2025 年 7 月 1 日～9 月 31 日）迄に J-s y s でハンディキャップ査定を受けていない場合は入賞を 6 位以下に制限する。

【 下館ゴルフ倶楽部 スロープレーティング／コースレーティング 】

	男 子	女 子
使用ティー	(白)	(赤)
ヤーデージ	5963 y	4915 y
スロープレーティング	117	116
コースレーティング	68.5	68.9

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ (規則 18.2)

アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。

2. ペナルティーエリア (規則 17)

(a) 片側だけ定められているペナルティーエリアは無限に及ぶ。

(b) ペナルティーエリアがコースの境界線に接している場合、そのペナルティーエリアの縁はその境界線まで及び、その境界線と一致する。

(c) ペナルティーエリアの縁がコースの境界(アウトオブバウンズの境界)と一致する地点をプレーヤーの球が最後に横切ってからそのペナルティーエリアの中で見つかるか、そのペナルティーエリアの中に止まったことが分かっている、または事実上確実な場合、ローカルルールひな型B-2.1に基づいて反対側の救済を受けることができる。

(d) ペナルティーエリアのためのドロップゾーン

ペナルティーエリアのためのドロップゾーンが設置される場合、1打の罰に基づく救済の追加の選択肢となる。

3. ドロップゾーン

アウトコース3番・4番・6番、インコース17番で球がペナルティーエリアに入った場合、指定のドロップゾーン(黄線)から1打罰を加えプレーする事も出来る。

4. 異常なコース状態 (動かさない障害物を含む) (規則 16)

(a) 修理地

1) 白線で囲まれ青杭で標示してある区域

2) 張芝の継ぎ目；ローカルルールひな型F-7を適用する。

3) パッティンググリーン上、あるいはフェアウェイの長さかそれ以下に刈ったジェネラルエリアの部分にあるヤーデージ用にペイントされた線や点は修理地として扱われ、規則16.1に基づく救済を受けることができる。ヤーデージ用のペイントがプレーヤーのスタンスにだけ障害となる場合、障害は存在しない。

(b) 動かさない障害物

1) 白線の区域と動かさない障害物がつながられている場合、一つの異常なコース状態として扱われる。

2) 動かさない障害物で囲まれている庭園区域とその中で生長しているすべての物は、一つの異常なコース状態として扱われる。

5. 不可分な物

次のものは不可分な物であり、罰なしの救済は認められない：

(a) 樹木や他の常設物に密着させてあるワイヤ、ケーブル、巻物、その他の物。

(b) ペナルティーエリアにある人工的な護岸やパイリング(枕木等の構築物)。

6. クラブと球の規格

(a) 適合ドライバースヘッドリスト：ローカルルールひな型G-1を適用する。

このローカルルールに違反するクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格

(b) 適合球リスト：ローカルルールひな型G-3を適用する。

(c) ストロークを行うとき、プレーヤーはパターを除き46インチの長さを超えるクラブを使ってはならない：ローカルルールひな型G-10を適用する。

このローカルルールに違反するクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格

7. ゴルフシューズ

ラウンド中、プレーヤーは下記の特徴を持つシューズを履いてはならない：

伝統的なスパイクすなわち、地面を深く貫くようにデザインされた1つあるいは複数の鋌を有するスパイク(メタル製、セラミック製、プラスチック製、その他の材質かは問わない)。このローカルルールの違反に対する罰：規則4.3参照

8. プレーの中断 (規則 5.7)

(a) 即時中断(落雷等、切迫した危険がある場合)

委員会がプレーの即時中断を宣言した場合、すべてのプレーヤーは直ちにプレーを止めなければならない、委員会がプレーを再開するまでは別のストロークを行ってはならない。

(b) 通常中断(日没やコースがプレー不能)

規則5.7b、c、dに従って処置すること。

(c) プレーの中断と再開の合図

本部より競技委員を通じて競技者に連絡する。

注：危険な状況のためにプレーを即時中断する場合、すべての練習区域は委員会がプレーを再開するまで閉鎖される。閉鎖された練習場で練習するプレーヤーには練習を止めるように勧告し、それでも練習を止めない場合には失格となることがある。

9. 練習（規則 5. 5）

(a) ラウンド前とラウンドとラウンドの間の練習（規則 5, 2）

規則 5. 2b は次の通り修正する。

プレーヤーは、ラウンド前やラウンドとラウンドの間に競技コースで練習をしてはならない。ただし、指定練習区域を除く。

(b) ホールとホール間の練習（規則 5. 5b）

規則 5. 5b を次の通り修正する：

二つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

- ・終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。
- ・終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。

10. キャディー

プレーヤーのキャディー使用は禁止とする。このローカルルールの違反の罰：プレーヤーはキャディーに支援してもらったその各ホールに対して一般の罰を受ける。違反がホールの中で起きたり、ホールとホールの間まで続く場合、プレーヤーは次のホールで一般の罰を受ける。

13. コールオン方式の採用

コールオンについては競技委員が認めた場合のみ可能とする。

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは「競技規定」で定められている参加資格を満たしていなければならない。

2. スコアカードの提出

プレーヤーのスコアカードは、プレーヤーの両足が所定のスコアリングエリアから出た時点で委員会に提出されたことになる。スコアカードを提出する前にスコアリングエリアを離れる必要のあるプレーヤーはスコアリングオフィシャルにその意思を告げなければならない、そしてすぐに戻らなければならない。

3. タイの決定

正規のラウンドが終了して予選通過者の決定、及び入賞者に対する記念品の贈呈に関してタイがあった場合は、第1優先：ローハンディ者、第2優先：年長者、第3優先：委員会によるくじ引きの順にて決定する。ベストグロスにタイがあった場合は、グロスのマッチング・スコアカード方式にて決定する。

4. 競技の結果ー競技の終了

競技の結果は最終成績表が競技会場の公式掲示板に掲載されたときに最終となる。

5. 競技の短縮

委員会は、コースの状況により適正なるプレーが不可能と判断した時、「競技規定」に定めてあるラウンド数を短縮することができる。

注意事項

1. ローカルルール7項において規制されるシューズ以外でもグリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
3. 競技委員会はすべての競技関係者、ギャラリーへの暴言等を含めエチケットの重大な違反があったプレーヤーを競技失格とすることができる。
4. コース内での携帯電話の通話は緊急時以外（カートの故障・ケガ等）禁止する。
※重大なエチケット違反と判断される場合は、競技失格となることがある。
5. 組合せスタート時間は別紙のとおりとする。欠席者があった場合は、組合せ及びスタート時間を変更する場合がある。欠席する場合は、必ず下館ゴルフ倶楽部(TEL：0296-20-1111)に連絡すること。
6. プレーの進行は、ハーフラウンド2時間15分以内とすること。先行組との間隔を不当にあげないよう注意のこと。プレーを不当に遅らせた場合はペナルティを課す。（トラブルがあつて遅れた場合はその組全員でその遅れを取り戻すよう努力をする義務がある）

7. 正規のラウンド中、ギャラリー等との接触においてアドバイスとみなされる行為があった場合は、ペナルティを課すので注意すること。
8. 練習は指定練習場にて行い、打ち放し練習場においては備え付けの球を使用し、スタート前の練習は1人1カゴ(25球)を限度とする。
9. 溝とパンチマークの規格
本競技は2010年1月1日施行の『溝とパンチマークの規格に適合するクラブの使用を求める競技の条件』を適用しない。※但し、本競技に付与されたJGA等他団体主催競技のシード権を行使する場合、本項目の条件が適用される場合がある。詳細は主催団体に各自確認を取る。
10. 受動喫煙を防止する為、健康増進法に基づいた対応につき所定の場所以外は禁煙とする。乗用カート内は禁煙とする。※所定の場所とは灰皿が置いてある場所を示す。
11. 競技参加者の氏名・成績等は、PGSニュース・PGSホームページ・その他雑誌、新聞等に掲載されることがある。又、参加された方にはPGSニュース及び翌年の競技の案内を送付させていただきます。
12. 競技参加者は、参加申込みに際し、主催競技(競技会場における競技に伴う前後の行事等を含む)に関して、その中継・再映・報道・広報のため、あるいは当協会の目的に反しない範囲で利用するために、写真・テレビその他の各種記録媒体による収録物、複製物あるいは編集物(適正範囲の編集に限る)にかかる競技参加者の肖像権(収録物等にかかる競技参加者の氏名・肖像を展示・通信・放送・上映により一般に公開し、あるいは貸与し、頒布するなどして他に提供する権利)を当協会に譲渡することを予め承諾されたものとする。
13. 本競技のスコアをハンディキャップ査定システム J-sys への登録は委員会が一括で行います。プレーヤーと委員会によるスコアの重複提出を避けるため、プレーヤーご自身でスコア登録はしない。

◆表彰

1. ブラック・ブルー・ホワイト・レッドクラス 出場人数により下記の通りとする
各クラス出場者の15%~25%を表彰
2. ピンククラス 出場人数により下記の通りとする
 - ① 6名以上7名以下の場合 1位
 - ② 8名以上の場合 1位~3位
3. ベストグロス賞 開催コース毎、各クラス男女別に16名以上出場の場合 1名
注1) 各ステージの基本ティーから使用ティーを変更された選手は対象外とする。
注2) 1クラス開催となった場合は、使用ティー毎男女別16名以上の場合 1名
4. 参加賞
ピンククラスを除く全出場者に進呈する ※ピンククラスは、競技参加費無料により参加賞進呈なしとする。
但し、ピンククラスの出場人数が5名以下の場合は、上位クラスでの出場とし、競技参加費を徴収し参加賞を進呈する。

競技委員長 宇野 義大